

《大会への参加方法》

■参加申込みについて

大会への参加をご希望の方は、10月31日（火）午後3時までに下記の【申込先】よりお申し込みください。期日までにお申し込みいただいた方には、受付にて名札をお渡します。期日後にお申し込みの場合は、受付の際に名刺をご用意ください。

【申込先】中小企業会計学会第11回全国大会
大会参加申込フォーム

<https://bit.ly/3Lh4NdK>

学会WEBサイトからもアクセスできます。



■大会参加費の支払いについて

大会参加費は下表のとおりです。10月31日（火）午後3時までに下記の【振込先】へお振り込みをお願いします。お振込みの際はご氏名のあとにご所属もご入力ください。なお、誠に恐れ入りますが、振込手数料は各自でご負担をお願いいたします。加えて、大会不参加による返金には応じかねますのでご了承ください。

	正会員	院生会員	非会員
大会参加費	3,000円	1,000円	4,000円
懇親会費	5,000円	2,000円	5,000円

【振込先】三菱UFJ銀行 神保町支店（店番号 013）
普通預金 1635906 梶田龍三（カバタ リュウゾウ）

《連絡事項》

■領収証について

領収証は、大会参加申込みの入力フォームにて発行のご希望をお伺いします。当日に参加者受付にてお受け取りください。

■認定研修について

本大会の記念講演、統一論題報告・討論、課題研究委員会報告は、日本公認会計士協会のCPD研修と東京税理士会の認定研修となっています。研修の出席確認は、当日に受付で行います。

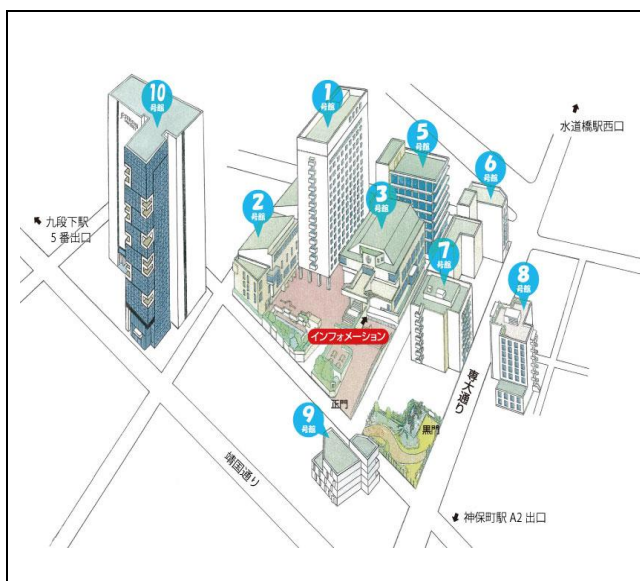
＜日本公認会計士協会CPD研修＞ 履修単位 研修コード

記念講演／課題研究委員会報告	1.0／0.5	2108
統一論題報告／統一論題討論	1.5／1.0	2302

＜東京税理士会認定研修＞

記念講演と統一論題報告	2日目	2.5時間
課題研究委員会報告と統一論題討論	3日目	2.0時間

《専修大学神田キャンパス》



◆神田キャンパス・アクセス

JR中央線・総武線 水道橋駅「西口」より徒歩約7分
東京メトロ東西線・半蔵門線・都営地下鉄新宿線
／九段下駅「5」出口より徒歩約1分
東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線・三田線
／神保町駅「A2」出口より徒歩約3分

■ウィルス感染防止について

館内でのマスクの着用は任意となりますが、手指消毒液や手洗い等の対策を各自で行なっていただきますようお願い申し上げます。

■昼食について

大会期間中の昼食は、神田キャンパス周辺の飲食店やコンビニエンスストアをご利用ください。

《お問い合わせ先》

中小企業会計学会第11回全国大会準備委員会
〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8
専修大学神田キャンパス1号館601号室
梶田龍三研究室 (Email : jaasme2023@gmail.com)

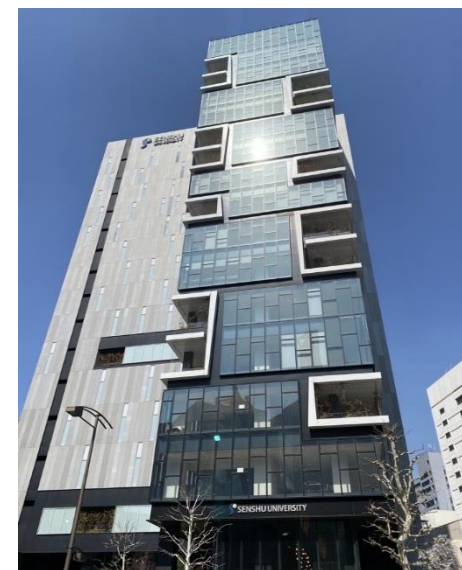
中小企業会計学会 第11回全国大会

2023（令和5）年

11月11日（土）・12日（日）

統一論題

中小企業会計の新たな時代の方向性
—中小企業版統合報告の在り方—



専修大学神田キャンパス

ご挨拶

会員各位

謹啓 会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、専修大学神田キャンパスにおいて、中小企業会計学会第11回全国大会を開催いたします。統一論題は、中小企業会計の新たな時代を切り拓くために、中小企業に統合報告を導入する意義はどこにあるのかという視点から、「中小企業会計の新たな時代の方向性－中小企業版統合報告の在り方－」というテーマにさせて戴きました。

統一論題では、坂上学氏（法政大学）を座長にお迎えし、第1報告が島永和幸氏（神戸学院大学）「中小企業における労働者の確保と生活賃金の会計」、第2報告が坂本孝司氏（税理士法人坂本&パートナー）・小川晃司氏（税理士法人BETT）・松崎聖太郎氏（税理士法人mk パートナーズ）「中小企業における統合報告の意義と必要性、現状と将来の方向性について」および第3報告が伊藤和憲氏（専修大学）「中小企業における統合報告書の意義」で各登壇者から報告して戴き、討論を行います。

記念講演では、安藤英義氏（一橋大学名誉教授・専修大学名誉教授）に「中小会計要領・指針の健全性」という誠に興味あるテーマで浦崎直浩氏（近畿大学）の司会のもと講演して戴きます。課題研究委員会では、委員長・越智信仁氏（関東学院大学）「中小企業財務報告の透明性改善に向けた多面的研究」の最終報告が戸田龍介氏（神奈川大学）の司会のもと行われます。また、11月11日（土）と11月12日（日）の自由論題報告は、それぞれ3組の方々に報告して戴きますが、その司会を中小企業会計に造詣の深い浮田泉氏（関西国際大学）と宮地晃輔氏（長崎県立大学）にお願いいたしました。

また、本大会は、久しぶりの懇親会を、11月11日（土）の夕方に開催いたします。しかし、新型コロナウイルスの感染が続く中でございますので、大会準備委員会一同、会員の皆様の安心・安全に細心の注意を払いながら万全の準備を進めて参る所存でございます。

末筆ではございますが、この第11回全国大会が、会員の皆様の人生の思い出深い一齣になることを願いつつ、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。 謹白

2023年10月吉日

中小企業会計学会第11回全国大会準備委員会

委員長 梶田 龍三（専修大学）

委員 国田 清志（専修大学） 松本 徹（専修大学）

坂上 学（法政大学） 大槻 晴海（明治大学）

金子 友裕（東洋大学） 中島 洋行（明星大学）

櫛部 幸子（大阪学院大学）

川津 大樹（星槎道都大学）

《大会プログラム》

大会1日目 11月10日（金）	
15:00 - 17:00 理事会	<1号館8階8A>
大会2日目 11月11日（土）	
9:00 - 17:30 参加者受付	<10号館3階10031教室前ロビー>
会員控室	<10号館4階10041教室>
10:00 - 12:05 【報告時間25分、質疑10分】 自由論題報告(1)	<10号館6階10062教室>
司会 浮田 泉氏（関西国際大学）	
第1報告 10:00 - 10:35 内海 美保氏（関西学院大学大学院研究員）	
「中小企業における統合報告導入と組織変容－能勢鋼材（株）での調査を踏まえて－」	
第2報告 10:45 - 11:20 我妻 芳徳氏（山形大学大学院博士後期課程）	
「中小菓子製造企業におけるキャッシュ・フロー・マネジメントの事例研究－D社の財務諸表分析から見える実像－」	
第3報告 11:30 - 12:05 飛田 努氏（福岡大学）	
「中小企業における経営課題の解決を図る中期経営計画の策定～筑水キャニコムに見る経営管理システムのデザイン～」	
13:00 - 13:50 会員総会	<10号館3階10031教室>
14:00 - 15:00 記念講演	<10号館3階10031教室>
「中小会計要領・指針の健全性」	
講演者 安藤 英義氏 （一橋大学名誉教授・専修大学名誉教授）	
司会 浦崎 直浩氏（近畿大学）	
15:30 - 17:00 【報告時間各30分】 統一論題報告	<10号館3階10031教室>
「中小企業会計の新たな時代の方向性 －中小企業版統合報告の在り方－」	
座長 坂上 学氏（法政大学）	
第1報告「中小企業における労働者の確保と生活賃金の会計」 島永 和幸氏（神戸学院大学）	
第2報告「中小企業における統合報告の意義と必要性、現状と将来の方向性について」 坂本 孝司氏（税理士法人坂本&パートナー）	

小川 晃司氏（税理士法人BETT） 松崎 聖太郎氏（税理士法人mk パートナーズ）	
第3報告「中小企業における統合報告書の意義」 伊藤 和憲氏（専修大学）	
17:30 - 19:30 懇親会	<1号館15階ホール>
大会3日目 11月12日（日）	
9:00 - 15:00 参加者受付	<10号館3階10031教室前ロビー>
会員控室	<10号館4階10041教室>
10:00 - 12:05 【報告時間25分、質疑10分】 自由論題報告(2)	<10号館6階10062教室>
司会 宮地 晃輔氏（長崎県立大学）	
第1報告 10:00 - 10:35 石垣 美佳氏（静岡産業大学）	
「中小企業の会計と経営力強化の関係－中小企業会計の実態調査結果を踏まえて－」	
第2報告 10:45 - 11:20 櫛部 幸子氏（大阪学院大学）	
宗田 健一氏（鹿児島県立短期大学）	
「デフォルトリスクを回避するために中小企業会計が果たす役割 コロナ禍・アフターコロナにおける税理士業務実態調査アンケートの結果をもとに」	
第3報告 11:30 - 12:05 宗田 健一氏（鹿児島県立短期大学）	
櫛部 幸子氏（大阪学院大学）	
「Robotic Process Automation (RPA)が中小企業会計に与える影響 －RPAメーカー・ベンダー、税理士法人へのインタビュー調査を基礎として－」	
13:20 - 14:00 課題研究委員会報告	<10号館3階10031教室>
司会 戸田 龍介氏（神奈川大学）	
委員長 越智 信仁氏（関東学院大学）	
最終報告「中小企業財務報告の透明性改善に向けた多面的研究」	
14:30 - 15:30 統一論題討論	<10号館3階10031教室>
「中小企業会計の新たな時代の方向性」	
座長 坂上 学氏	
討論者 島永 和幸氏 坂本 孝司氏・小川 晃司氏・松崎 聖太郎氏 伊藤 和憲氏	